

## 新商品紹介

**新商品 MySkin® Light**

当社開発の細菌叢採取キットと  
細菌種特異的PCRプライマーを使用した定量PCR測定

**低コストでの皮膚細菌叢解析が実現！！**

- ・ 下記のリストから選択した1～4つの細菌種の量を計測します
- ・ 採取した細菌叢検体中における、各々の細菌の存在比率がわかります
- ・ 検体に含まれる細菌の絶対量についての情報も得られます
- ・ 低コストで皮膚細菌叢解析を行いたい方に最適です
- ・ 個人向け肌診断サービスに細菌叢解析を組み入れたい方へオススメ！

**測定できる菌種**

アクネ菌 (*Cutibacterium acnes*)  
表皮ブドウ球菌 (*Staphylococcus epidermidis*)  
コリネバクテリウム属 (*Corynebacterium*)  
エンテロコッカス属 (*Enterococcus*)

**納期：2週間～**

- ・ いずれも皮膚細菌叢中の重要な細菌種です
- ・ その他の菌種についても対応可能な場合があります。お気軽にお問い合わせください

- ◆ 細菌叢解析の一般的な手法（16S rRNA解析）と同様に、16S rRNA遺伝子を対象とした解析です。



定量PCR装置

### 第10回 CSJ化学フェスタ2020で招待講演をします

セッション名：美を化学する ～化学とバイオの融合、コスメティックスの世界へのいざない～  
タイトル：日本人女性を対象にした皮膚細菌叢大規模解析について

日時：2020年10月20日(火) 10:40～11:05

場所：オンライン開催

リンク：<http://www.csj.jp/festa/2020/>

**発表者：井上玄志 (TAK-Circulator 株式会社 マイクロバイーム事業本部 課長)**

学歴・職歴：2005年東北大学大学院農学研究科博士後期課程修了 博士（農学）、  
2005年 農業生物資源研究所特別研究員、2009年 東京工業大学大学院生命理工学  
研究科産学官連帯研究員、2010年 東京大学医科学研究所特任研究員、2013年 東  
京大学総合文化研究科特任研究員、2014年より現職。

## 協業について

### 株式会社KINSとの協業

今回、株式会社 KINS と個人向けのサービスについて協業いたしました。当社の新商品 **MySkin®Light** により、皮膚細菌叢に存在する特定の細菌種の量を測定し、当社が行った日本人女性 1000 名の肌データ大規模解析結果 (Pj1000) に基づき株式会社 KINS がお客様の肌状態の診断・カウンセリング・コントロールを提供するサービスとなっております。

リンク：<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000003.000048644.html>

## 雑談【アクネ菌について】

アクネ菌（学名 *Cutibacterium acnes*\*）は、私たちの皮膚や毛穴に存在する最も主要な常在細菌です。弊社が行った日本人女性 1000 名を対象とした皮膚細菌叢大規模解析では、平均で皮膚上の細菌の 50% がアクネ菌であるという結果が得られました。

アクネ菌は皮脂を栄養源として生育し、また酸素を嫌う菌であることが知られています。アクネ菌にはにきびの原因菌としての悪いイメージをお持ちの方が多くかと思えます。皮脂の分泌が過剰な肌では毛穴の内部でアクネ菌の過剰な増殖が起き、それによって炎症を引き起こされニキビの原因になると考えられています。しかし、近年の研究では、アクネ菌に炎症を起こしやすいタイプとそうでないタイプがあることがわかってきました。ニキビのできやすさを決める一因は、その人の肌に住んでいるアクネ菌の種類にあるようです。

また、アクネ菌には肌にとっての良い作用もあることがわかってきています。アクネ菌が代謝によって産み出すプロピオン酸や脂肪酸は、皮膚を弱酸性に保ち、他の病原菌が皮膚から体内へと入っていくことを抑える働きがあります。実際、弊社がおこなった大規模解析でも、アクネ菌の量が少なすぎる肌ではシワやシミといった肌トラブルが起きやすいという結果が得られています。

大切なのは細菌叢のバランスです。洗顔のしすぎや紫外線の浴びすぎは肌の細菌叢にとっても悪影響のある生活習慣。避けるのが望ましいようです。

\* 以前は *Propionibacterium acnes* と呼ばれていました。